

公開シンポジウム「心と身体から教育を考える」

1. 主 催 日本学術会議心理学・教育学委員会心と身体から教育を考える分科会
2. 共 催 (財)体質研究会、(財)慢性疾患・リハビリテーション研究振興財団
3. 後 援 京都新聞
4. 日 時 平成22年5月9日(日) 10:30~16:30
5. 場 所 京都大学医学部芝蘭会館

6. 開催趣旨

いじめや自殺、青少年犯罪など深刻な状況への社会的対応として、いのちの教育や心のケアの重要性が叫ばれている。だが、「いのち」や「心」といった言葉が一人歩きしてしまい、そもそも脳や心、身体はどんな連関をもつのか？教育可能なのか？善悪の判断など価値観形成にどんな関係があるのか？など、基本的な問いに十分に答えられるだけの基礎的な研究は進んでいるとはいえない。こうした反省の立場にたち、これまで分科会では、哲学、医学、心理学、体育学、教育学の委員による学際的な議論を重ねてきた。本シンポジウムでは、これまでの議論の成果を公開するとともに、心と身体など人間をトータルに捉える立場から教育を捉えなおすための新たなまなざしについて、それぞれの提言を踏まえた発表報告および討議を行う。

7. 次 第

第一部 (10:30~12:30、芝蘭会館稲盛ホール)

日本学術会議シンポジウム「宇宙、心身、いのち」

司会 鈴木晶子 (日本学術会議会員、京都大学教授、教育哲学)
基調講演 毛利 衛 (日本学術会議会員、日本科学未来館館長、宇宙飛行士)
討論 跡見順子 (日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授・東京大学
アイソトープ総合センター特任研究員、生命科学)

心身やいのちについては誰もが体感的、体験的に日常生活から考えたり感じたりしている。専門家集団の中のみ閉じられた議論ではなく、日常の感覚を大切に、広く語り合う場を作っていくにはどうしたらよいか。宇宙体験を通して感じ取った事柄について毛利氏に語っていただくとともに、それに対して、脳研究や身体論、哲学などの領域の研究者が思いを語るという形式を予定している。

第二部 (14:00~16:00、芝蘭会館、稲盛ホール、芝蘭会館別館)
サイエンス・カフェ (3つのカフェを3つの会場で同時に開催)

①「脳とスポーツ」

西野仁雄 (日本学術会議連携会員、名古屋市立大学名誉教授・前学長、
脳科学)

寒川恒夫 (日本学術会議連携会員、早稲田大学教授、スポーツ人類学)

②「言葉の力ー多義性から考える」

入来篤史 (日本学術会議連携会員、理化学研究所脳科学総合研究センター
・リーダー、脳科学)

藤田和生 (京都大学教授、心理学)

鈴木晶子 (日本学術会議会員、京都大学教授、教育哲学)

③「身体を知る・身体から学ぶ」

竹森 重 (日本学術会議特任連携会員、東京慈恵会医科大学准教授、
生物物理学)

辻本雅史 (日本学術会議連携会員、京都大学教授、教育史)

跡見順子 (日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授・東京大学
アイソトープ総合センター特任研究員、生命科学)

8. 参加申し込み方法、問い合わせ先

参加料は無料でどなたでも参加できますが、会場準備の都合上、参加者氏名(フリガナ明記)職業および連絡先、サイエンスカフェの参加希望分科会番号、懇親会参加の有無を、**2010年4月30日(金)までに**、FAXまたはE-mail (mo-inochi@taishitsu.or.jp メールにてお申し込みの場合は件名に「第16回いのちの科学申込み」と書いて下さい)にて、下記の(財)体質研究会までお知らせ下さい。

〒606-8225

京都市左京区田中門前町 103-5 パスツールビル5F

Tel 075-702-0824 Fax 075-702-0824